

## 平成31年3月期経営状況概要

項目	予算額 (繰越金)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
<b>8. 水道事業収益</b>	<b>2,583,933</b>	<b>458,445</b>	<b>2,599,130</b>	<b>100.6%</b>	<b>△ 15,197</b>		
1. 営業収益	2,258,142	174,486	2,269,734	100.5%	△ 11,592		
1. 給水収益	2,226,932	173,911	2,236,968	100.5%	△ 10,036		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	31,210	575	32,766	105.0%	△ 1,556		
2. 営業外収益	325,526	283,880	329,057	101.1%	△ 3,531		
3. 特別利益	265	80	339	127.9%	△ 74		
<b>9. 水道事業費用</b>	<b>2,594,255</b>	<b>1,373,791</b>	<b>2,432,168</b>	<b>93.8%</b>	<b>162,087</b>	<b>2,432,168</b>	<b>93.8%</b>
1. 営業費用	2,346,521	1,310,159	2,220,607	94.6%	125,914	2,220,607	94.6%
1. 原水及び浄水費	520,816	80,820	423,568	81.3%	97,248	423,568	81.3%
2. 配水費	317,920	48,505	311,578	98.0%	6,342	311,578	98.0%
3. 給水費	113,823	19,575	99,493	87.4%	14,330	99,493	87.4%
4. 受託工事費							
5. 業務費	163,822	27,619	162,921	99.4%	901	162,921	99.4%
6. 総係費	133,078	36,667	126,074	94.7%	7,004	126,074	94.7%
8. 減価償却費	1,015,229	1,015,141	1,015,141	100.0%	88	1,015,141	100.0%
9. 資産減耗費	81,833	81,831	81,831	100.0%	2	81,831	100.0%
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	226,933	63,527	210,984	93.0%	15,949	210,984	93.0%
3. 特別損失	801	105	577	72.1%	224	577	72.1%
4. 予備費	20,000				20,000		
<b>10. 資本的収入 (繰越含む)</b>	<b>1,254,904</b>	<b>915,479</b>	<b>1,252,389</b>	<b>99.8%</b>	<b>2,515</b>		
1. 企業債	771,200	612,300	771,200	100.0%			
2. 負担金・補償金	157,535	52,922	149,924	95.2%	7,611		
3. 補助金	180,949	179,402	179,402	99.1%	1,547		
4. 出資金	136,343	70,143	136,343	100.0%			
5. 加入金	8,877	713	15,520	174.8%	△ 6,643		
9. その他資本的収入							
<b>11. 資本的支出 (繰越含む)</b>	<b>2,355,233</b>	<b>1,159,152</b>	<b>2,263,804</b>	<b>96.1%</b>	<b>91,429</b>	<b>2,297,059</b>	<b>97.5%</b>
1. 建設改良費	1,652,099	953,030	1,562,945	94.6%	89,154	1,596,200	96.6%
1. 取水施設整備費	285,865	18,524	273,723	95.8%	12,142	273,723	95.8%
2. 導水施設整備費							#DIV/0!
3. 浄水施設整備費	130,086	109,350	130,086	100.0%		130,086	100.0%
4. 送水施設整備費							#DIV/0!
5. 配給水施設整備費	1,233,748	823,428	1,157,409	93.8%	76,339	1,190,663	96.5%
6. 消防設備整備費	2,400	1,728	1,728	72.0%	672	1,728	72.0%
2. 企業債償還金	703,134	206,122	700,859	99.7%	2,275	700,859	99.7%
<b>12. たな卸し資産購入限度額</b>	<b>52,436</b>	<b>1,972</b>	<b>25,258</b>	<b>48.2%</b>	<b>27,178</b>	<b>25,258</b>	<b>48.2%</b>
①有収水量	7,780,100	597,480	7,792,301	100.2%	△ 12,201		
②供給単価	286.23	291.07	287.07	100.3%	△ 0.84		
③給水原価	333.34	2,299.13	312.05	93.6%	21.29		
<b>人件費</b>	<b>237,410</b>	<b>13,980</b>	<b>217,988</b>	<b>91.8%</b>	<b>19,422</b>		
1. 収益的収支	193,509	11,250	174,249	90.0%	19,260		
1. 職員給与費	193,387	11,250	174,151	90.1%	19,236		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	122		98	80.3%	24		
2. 資本的収支	43,901	2,730	43,739	99.6%	162		
* 職員給与費	237,288	13,980	217,890	91.8%	19,398		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.7%	6.5%	7.8%				
2. 全職員	10.7%	8.0%	9.7%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
<b>A. 固定資産</b>	<b>45,818,056</b>	<b>46,693,251</b>	<b>875,196</b>	
*減価償却累計額	19,449,164	19,970,899	521,736	
<b>B. 流動資産</b>	<b>3,098,763</b>	<b>3,325,130</b>	<b>226,367</b>	
1. 現金預金	2,770,917	2,628,502	△ 142,415	
2. 未収金	237,379	444,985	207,606	
3. 貸倒引当金	△ 5,133	△ 5,115	18	
4. 貯蔵品	32,638	34,447	1,809	
5. 前払費用・前払金	57,830	16,824	△ 41,006	工事前払金等
6. その他		200,373	200,373	仮払消費税
<b>D. 水道事業費用</b>		<b>2,365,553</b>	<b>2,365,553</b>	
1. 営業費用		2,154,025	2,154,025	
2. 営業外費用		210,984	210,984	
3. 特別損失		544	544	
<b>1. 借方合計=A+B+D</b>	<b>52,674,825</b>	<b>56,342,810</b>	<b>3,667,985</b>	
<b>E. 固定負債</b>	<b>11,631,620</b>	<b>11,719,131</b>	<b>87,511</b>	
1. 企業債	11,385,036	11,460,827	75,791	
2. 引当金	246,584	258,304	11,720	
<b>F. 流動負債</b>	<b>908,847</b>	<b>1,099,729</b>	<b>190,882</b>	
1. 企業債	703,132	697,683	△ 5,449	H30年度償還元金
2. 未払金	119,676	216,415	96,739	
3. 前受金	72,517	26	△ 72,490	
4. 引当金	13,054	14,621	1,567	・賞与引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	468	170,983	170,515	
うち仮受消費税		170,487	170,487	
<b>G. 繰延収益</b>	<b>9,958,276</b>	<b>10,260,069</b>	<b>301,793</b>	
1. 長期前受金	9,958,276	10,260,069	301,793	・償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* " 収益化累計額	3,758,006	3,958,876	200,870	
<b>H. 資本金</b>	<b>10,547,278</b>	<b>10,683,621</b>	<b>136,343</b>	
1. 自己資本金	10,547,278	10,683,621	136,343	・固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
<b>J. 剰余金</b>	<b>174,507</b>	<b>174,507</b>		
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	151,607	151,607		
<b>K. 水道事業収益</b>		<b>2,429,739</b>	<b>2,429,739</b>	
1. 営業収益		2,104,032	2,104,032	
2. 営業外収益		325,382	325,382	
3. 特別利益		325	325	
<b>2. 貸方合計=E+F+G+J+K</b>	<b>52,674,825</b>	<b>56,342,810</b>	<b>3,667,985</b>	
a. 供給単価 (円、銭)	265.81	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く		
①実数値	272.44	=原価算入額÷有収水量		当月予算
②シミュレーション	239.18	原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	72.48%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	86.40%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	301.89%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	239.01%	=現金預金÷流動負債		

\* 供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成31年3月期 業務実績報告書（水道管理課）

一 般 事 項

1 料金調定関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30, 113	364, 493	366, 300	365, 729	△ 1, 807	△ 1, 236
2 調定水量	m <sup>3</sup>	592, 750	7, 737, 076	7, 729, 000	7, 821, 695	8, 076	△ 84, 619
3 調定料金(税抜)	円	160, 905, 898	2, 070, 266, 107	2, 061, 000, 000	2, 089, 997, 235	9, 266, 107	△ 19, 731, 128
4 口振加入件数	件	24, 865	300, 926	—	301, 979	—	△ 1, 053

2 給水業務関係

項目	単位	A 当月期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	79, 841	—	80, 814	△ 973
6 給水件数	件	30, 172	—	30, 267	△ 95
7 閉栓処理件数	件	481	2, 959	3, 207	△ 248
8 閉栓処理件数	件	306	3, 026	3, 215	△ 189
9 給水工事設計審査	件	58	743	649	94
10 給水工事竣工検査	件	77	923	898	25
11 経年メーター交換	件	28	4, 114	4, 231	△ 117
12 メーター口径変更	件	5	67	59	8
13 月末停止件数	件	0	112	102	10

3 料金徴収関係

項目	A 当月末未収額	B 収納率	C 前年同月未収額	D 収納率
14 当年度分	185, 151, 352円	91. 72%	189, 134, 219円	91. 62%
15 過年度分	4, 212, 918円	97. 82%	4, 466, 487円	97. 62%
16 計	189, 364, 270円	—	193, 600, 706円	—

4 給水装置工事指定業者

(市内 2社廃止)

追町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
18	8	16	12	13	9	8	14	6	104	122	226

5 入札・契約

(左：当月 右：累計)

項目	累 計 (落札件数 / 入札件数)		工事請負	設計業務	業務委託	物品購入	その他					
	0 / 0	123 / 126										
入札件数	0 / 0	123 / 126	0 / 0	67 / 70	0 / 0	25 / 25	0 / 0	9 / 9	0 / 0	22 / 22	0 / 0	0 / 0
契約締結	一般	0	23	0	23	0	0	0	0	0	0	0
	指名	0	73	0	34	0	22	0	1	0	16	0
	随契	0	27	0	10	0	3	0	8	0	6	0
	合計	0	123	0	67	0	25	0	9	0	22	0

《中止 当月 0件/累計 2件》《不調 当月 0件/累計 3件》《取消 当月 0件/累計 0件》《未契約 0件》

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当月件数	内 容
竣工検査	72	33	工事
中間検査	36	0	
合計	108	33	

7 主要行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	1 2 日	3月 事業打合せ等
事業調整会議	1 2 日	第12回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
安全衛生委員会	1 2 日	第12回 職場巡視の報告 他
水道事業連絡会議	1 3 日	第12回 業務報告、日程調整、業務打合せ
水道ブースター会議	1 3 日	決算書の見方について 等
給水拠点設置訓練	2 0 日	東和総合支所
経営分析会議	2 0 日	2月期 各種経営分析等
例月出納検査	2 6 日	2月期 例月出納検査及び実地たな卸
指名委員会	1 2 日	第33回
入札	— 日	—
緊急メールの発信	— 日	漏水 8、破損 5、取停 5、水質 1、訓練 2

特 記 事 項

1. 3月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は173,911千円(税込)で、前月期に比べて4,748千円の減で、予算執行率100.5%(前年度100.6%)、対前年同月比(累計)では20,232千円の減となっています。営業収益は手数料収益575千円を含む174,486千円、営業外収益は負担金補助金及び補償金36,402千円、事務手数料3,867千円、長期前受金戻入242,053千円を含む283,880千円となりました。

当期の営業費用は減価償却費1,015,141千円、資産減耗費81,831千円を含む1,310,159千円を執行し、累計額は2,220,607千円、予算執行率(累計)は94.6%(前年度93.4%)となりました。営業外費用では企業債利息に63,527千円を執行し、特別損失では105千円を執行しています。

イ 資本的収支

当期の収入は企業債607,900千円、補償金23,299千円、国庫補助金175,559千円、出資金70,143千円を含む879,342千円を執行し、累計額は911,255千円、予算執行率(累計)99.4%(前年度75.4%)となりました。支出は建設改良費で取水施設整備費に18,524千円、浄水施設整備費に109,350千円、配給水施設工事費に713,431千円、その他事務費等を含め916,230千円となり、企業債償還金で206,122千円を執行し、累計額は1,885,456千円、予算執行率(累計)96.5%(前年度83.2%)となりました。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は薬品に1,972千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市指定給水装置工事事業者会議を開催

3月11日(月)に平成30年度登米市指定給水装置工事事業者会議を開催しました。この会議は毎年定期的に行っているもので、今回は昨年12月に水道法の一部が改正され、指定給水装置工事事業者の資質の保持や実体とのかい離の防止を図るため、5年ごとの更新制が導入されたことに伴い、登米市水道事業でも更新制を導入するにあたり、登録事業者の方々へ説明を行なったものです。市内外から115名の参加がありました。



【会議の様子】

指定店の現状把握も含め、今後も定期的に会議を開催いたします。

(2) 電子入札システム導入へ



【システム操作研修会】

登米市水道事業所では、入札参加者の利便性の向上と入札における透明性、公平性、競争性の確保、入札契約事務の効率化を図るため、インターネットを利用した電子入札システムの導入を進めています。

既に登米市が導入している電子入札システムを共同利用することとしており、平成31年4月より建設工事及び建設コンサルタント業務について電子入札を実施する予定としています。

(3) 平成31年度登米市水道事業会計予算が可決

3月7日(木)の平成30年登米市議会定例会2月定期議会において「平成31年度登米市水道事業会計予算」が原案通り可決しました。

新年度予算は、予算規模が40億4,761万円で収益的収入及び支出のうち、給水収益22億2,944万円を含む水道事業収益は25億9,905万円、営業費用24億6,989万円を含む水道事業費用は26億9,054万円となっております。また、資本的収入及び支出のうち、企業債7億550万円、補助金1億8,333万円、出資金1億840万円を含む資本的収入は10億7,693万円、建設改良費14億8,593万円を含む資本的支出は24億8,881万円となっております。

(4) 資金管理運用委員会

3月14日(木)に資金管理運用委員会を開催しました。3月19日に3億円と2億円、3月26日に5億円の定期預金が満期を迎えることから今後の資金運用について協議を行い、各々同額を1年間の定期預金とすることとしました。

# 平成31年3月期 業務実績報告書（水道施設課）

## 一 般 事 項

### 経営分析の状況

#### ◎ 配水量の状況

(単位：m<sup>3</sup>)

項 目	当月実績 (A)	実績累計 (B)	計画累計 (C)	前年累計 (D)	比 較 (E)	
					対計画 (B)-(C)	対前年度 (B)-(D)
総取水量	816,271	9,754,090	9,704,470	9,901,624	49,620	△ 147,534
総配水量	754,515	9,018,359	9,035,800	9,223,266	△ 17,441	△ 204,907
1 有効水量	659,998	8,423,757	8,378,300	8,520,956	45,457	△ 97,199
(1) 有収水量	597,480	7,792,301	7,780,100	7,873,026	12,201	△ 80,725
(2) 無収水量	62,518	631,456	598,200	647,930	33,256	△ 16,474
2 無効水量	94,517	594,602	657,500	702,310	△ 62,898	△ 107,708
(1) 漏水量	93,617	587,556	650,000	605,309	△ 62,444	△ 17,753
(2) その他無効水量	900	7,046	7,500	97,001	△ 454	△ 89,955
3 有収率	79.19%	86.40%	86.10%	85.36%	0.30%	1.04%

※ 当月期の最大配水量は、20日（水）に記録した【24,708m<sup>3</sup>】です。

#### ◎ 主要な建設改良事業の状況

(単位：件・千円)

主要な建設改良事業	予 算 (A)		施 工 中 (B)		竣 工 (C)		残 額 (D) (A)-(B+C)	執行率
	件数	金額	件数	金額	件数	金額		
ア 取水施設整備事業	4	22,268	0	0	4	19,820	2,448	89.01%
ウ 浄水施設整備事業	12	130,086	0	0	12	130,086	0	100.00%
オ 配給水施設整備事業	77	1,096,170	3	33,254	74	1,032,983	29,933	97.27%

※ 件数及び金額は、工事+委託（事務費・人件費含む）の合計です。

※ 施工中の3件は繰越を行うものです。

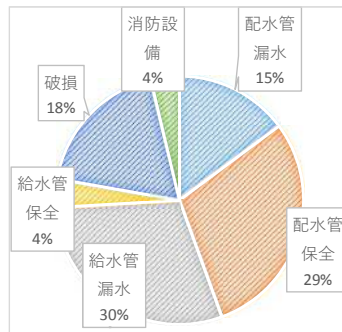
#### ◎ 毎日検査

※ おいしい水の目安 遊離残留塩素 0.4mg/l以下

	保呂羽浄水場 F 1 遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数：7)	東和町水系 (測定戸数：9)	石越町水系 (測定戸数：1)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数：2)
平均	0.64	0.47	0.49	0.56	0.49
最高	0.67	0.70	0.80	0.60	0.57
最低	0.61	0.31	0.20	0.50	0.35

#### ◎ 特定工事発注状況

	配水管 漏水	配水管 保全	給水管 漏水	給水管 保全	破損	消防 設備	浄水施設	路面 復旧	その他	計
月計	4	8	8	1	5	1	0	0	0	27
累計	84	117	107	33	33	27	13	28	0	442
前年同 月累計	107	96	75	28	25	22	36	15	7	411



## 特 記 事 項

### 1. 錦織水系浄水場の膜ろ過設備装置を更新しました

ろ過施設が老朽化したことから、平成30年7月から工事を行っていた東和町米谷字大嶺地内にある錦織水系浄水場の膜ろ過設備更新工事が完成し、3月8日給水を開始しました。今回更新したセラミック（陶材）平膜ろ過装置は、従来使用していた中空糸型膜と比較し、降水時などの大きな濁度変動にも対応ができるのが特徴で、材質としてセラミックを用いているため、耐薬品性、耐微生物侵食性にも優れ、中空糸型膜に比べて劣化しにくく、膜の寿命が長いという利点があります。錦織水系浄水場は一日最大810m<sup>3</sup>/日の水を浄水し、東和町錦織地区約570世帯に配水しています。

水道事業所では、今後も安全で安心な水道水を市民の皆様へお届けするよう、努めていきます。



錦織浄水場ろ過膜設置状況



セラミック平膜ユニット設置状況



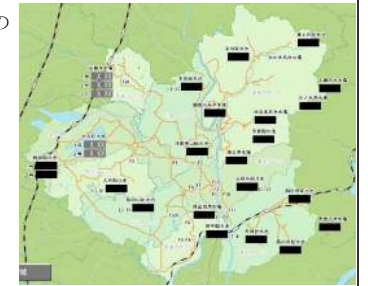
セラミック平膜：  
1ユニットに200枚の膜が収納されています。

### 2. 遠方監視設置を箇所を追加しました

これまで遠方監視の出来なかった本宮、相の山、大岳配水池の各配水池及び東針田、沼山ポンプ場の水位や運転情報などを管理するため遠方監視装置を設置し、56箇所の監視が可能となりました。

監視装置の導入により、職員及び浄水施設等維持管理業務受託者が、パソコンやスマートフォン等において遠方施設の運転状況が監視可能になるとともに、施設の異常等も早期発見・対応が可能となり現場管理の負担が軽減されました。

来年度は北方配水池、米谷配水池などに遠方監視装置を設置する予定です。



### 3. 平成30年度の漏水調査結果について

平成30年度の漏水調査の結果は、103件116.142m<sup>3</sup>/h(累計)の漏水を発見しました。3月末での有収率は86.4%となり、平成30年度末で計画有収率86.1%を達成しています。

平成31年度は、計画有収率87.0%を目標に調査を実施します。

